

| 学年 | コース | 教科 | 科目 | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|------|------|-----|----|-----|-----|
| 2 | 進学一貫 | 地理歴史 | 地理B | 理系 | 必修 | 2 |

講座のねらい

中学校で学習した地理の基礎的知識を確認しながら、その知識を更に深めていきます。また、授業を通して世界の諸地域の特徴をとらえるとともに、現代世界の動向をとらえ、諸課題に取り組む姿勢を身につけます。

使用教材及び問題集

教科書『詳説新地理B』（帝国書院）
 地図帳『新詳高等地図 初訂版』（帝国書院）
 資料集『最新地理図表』（第一学習社）
 問題集『地理10分間テスト』（山川出版社）

授業の内容と進め方

授業は、基本的には教科書の著述に従って進めていきます。地図帳を始めとし、様々な資料を使用します。授業内容に関連する資料をプリントで配布することもあります。授業中に、質問によって理解の確認を行ったり、問題演習を行うことで知識の定着をはかることも適宜行います。授業中やその他課題で作業を行っていくこともありますが、丁寧に取り組んでもらいたいと思います。

講座の到達目標

1. 現代社会の地理的事象を系統的・地誌的に考察できる力を養成します。
2. 地理的見方、考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。
3. 課題に対し、グラフや表を分析し考察する地理的技法を身につけます。

評価の観点・テスト・課題など

評価は定期考査を主とするが、その他授業態度・提出物・小テストの結果なども評価の対象とします。定期考査の内容は平素の授業内容が中心ですが、発展的な知識を問う問題も出題することもあります。

備考

テレビのニュース・新聞など各種メディアを通して、日々、世界や日本の動きに留意し、様々な問題や課題に対して自分なりの意見をもつようしてもらいたいと思います。

授業の計画

| |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 学期 学習計画および学習内容 |
| 第 I 章 現代世界の系統的考察 第 1 節 系統地理的考察の視点 第 2 節 自然環境 1. 地形からみた世界 2. 気候からみた世界 3. 総合的な自然環境からみた世界 |
| 2 学期 学習計画および学習内容 |
| 第 3 節 資源と産業 1. 農業からみた世界 2. エネルギー・原料資源からみた世界 3. 工業からみた世界 第 4 節 都市・村落と生活文化 1. 都市と村落からみた世界 2. 衣食住からみた世界 |
| 3 学期 学習計画および学習内容 |
| 第 II 章 現代世界の地誌的考察 第 1 節 地誌的考察の視点 第 2 節 市町村規模の地域 1. フィールドワークの基礎 2. 学校所在地を調べる 3. 外国の都市を調べる 4. 市町村規模の地域調査を比較・考察する |